

令和6年度

著蔵小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着を目指し、学び合い考えを深める力を育むことができる授業の工夫・改善
- 家庭との連携による生活・家庭学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
---------	----

校長

野町 孝英

【各校の取組状況の把握について】

各学期ごとに学力向上検討委員会を設け、成果と課題について検討する。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中は与えられた課題に真面目に取り組むことができる。ドリル学習に意欲的に取り組み、全体的に基礎的な学力が定着してきた。 ●基礎学力の定着や学習スキル(聴く)の獲得に個人差が見られる。	・漢字や計算を中心とした基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができる。 ・学習規律や学習スキル(聴く・話す)をしっかりとし身に付ける。	・基礎学力の定着を図るため、朝の活動や放課後の補充学習等の校内支援体制を工夫する。 ・朝の活動や家庭学習を中心に、漢字や計算、文の構成(主語・述語・修飾語等)の問題に継続的に取り組ませる。 ・「めざせ！ききトリ名人」の取組みを継続し、傾聴力と記憶力を鍛える。	・現在取り組んでいる支援体制、学習活動に継続的に取り組む。 ・ステップアップテストで課題が見られた漢字の筆順については、国語だけでなく書写の授業にも指導していく。	・朝の学習やタブレットのドリル学習で漢字や計算等の基礎的な学力が定着しており、単元末のテストでは成果が見られた。しかし、中間期や学期末のテストでは、漢字の定着率が低い児童もいた。 ・「めざせ！ききトリ名人」の取組みや著蔵っ子の約束である「相手を見て目と耳と心で聴く」ことを意識しながら話を聴くことができていた。	・朝の学習、タブレットのドリル学習、自主学習など様々な学習を工夫して取り組み、どの時期においても習熟率が安定するようにしていく。 ・「めざせ！ききトリ名人」の取組みや著蔵っ子の約束を継続し、学級や全体指導の中でこまめに意識付けを行っていく。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペアやグループによる話し合いの場を確保したことで、自分の意見をしっかりと発表できる児童が増えてきている。 ●複数の資料やデータ等から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめることに課題がある。	・根拠を明確にして自分の意見を伝えたり、図や式、言葉を使って説明したりすることができる。 ・複数の資料やデータ等から必要な情報を取り出し引用したりして、自分の考えを書くことができる。	・自分の考えを発表する際、結論や答えだけでなく、根拠を明確にして発表できるようにする。 ・文章や図、グラフなどの大事な部分に線を引いたり丸で囲んだりすることを習慣づける。 ・OD版「学習ガイド」を利用し「読むこと」「書くこと」の活用問題に取り組ませる。	・教科書だけでなくプリントやドリルなどにも線を引いたり丸で囲んだりすることを習慣づける。 ・図や式を用いて導き出した結果や線を引くなど自分が着目した箇所について友達と話し合う活動を行う。	・様々な教科でペアやグループによる話し合い活動を実施することで、児童が互いに考えを広げることができていた。 ・グラフや表を活用して、結論や答えを見つけたことができたが、理由や考察を述べる力に弱さが見られた。	・理由や根拠をもつことができるように、資料の関連付けや考える視点について指導、支援していく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○地域ボランティアによる読み聞かせや朝の読書等、ほとんどの児童が読書の時間を楽しみにしている。 ●出された宿題はきちんとできるが、自主学習に取り組もうとする児童に個人差がある。	・「学年×10分」の家庭学習に取り組む習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる。 ・朝の読書や家庭読書に意欲的に取り組み、幅広い読み物(新聞を含む)を進んで読むことができる。	・自主学習の内容を教科学習にとどまらず、興味のあることにも広げ、主体的に自主学習に取り組めるようにする。 ・図書の紹介カードを書くなど、読書の感想を共有する機会を設け、読書活動の推進を図る。	・読書習慣を身につけていく大切さを、児童・保護者に啓発する。 ・上学年では、授業の中で子ども新聞(新聞)等の要約を取り入れる。	・興味があることやテスト勉強に向けての学習など、自分で課題を設定して自主学習に取り組むことができる児童が増えてきた。 ・読書の感想を紹介し合う活動を行ったことで、児童が互いに興味がある本を知り、本の世界に広がりが見られていた。	・自主学習ノートの目標冊数に向け、達成シールや達成シート等で進捗状況を確認できるようにする。そして、児童が自分の頑張りや達成感に気づき、今後の学習に見通しを持って取り組めるようにしていく。 ・地域ボランティアの活動や図書委員会の活動などを今後も継続し、様々なジャンルの本に触れる活動に継続して取り組んでいく。

令和6年度 学力向上ロードマップ

